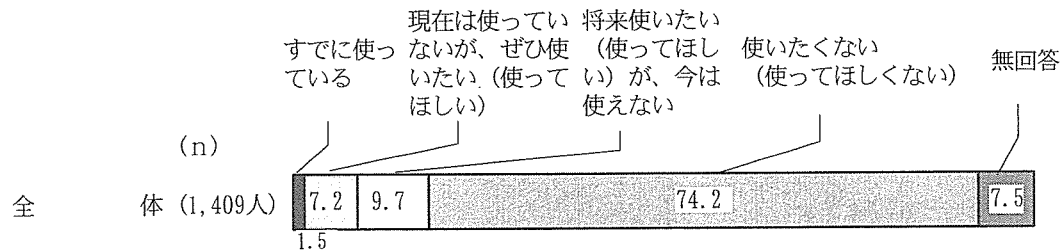


第7章 予期しない妊娠の防止について

1 低用量ピル（経口避妊薬）の利用意向

問 38 低用量ピル（経口避妊薬）は、ホルモン含有量を抑えた、女性が飲む錠剤の避妊薬ですが、あなた自身は低用量ピルを使いたい、または相手に使ってほしいと思いますか。（○は1つ）



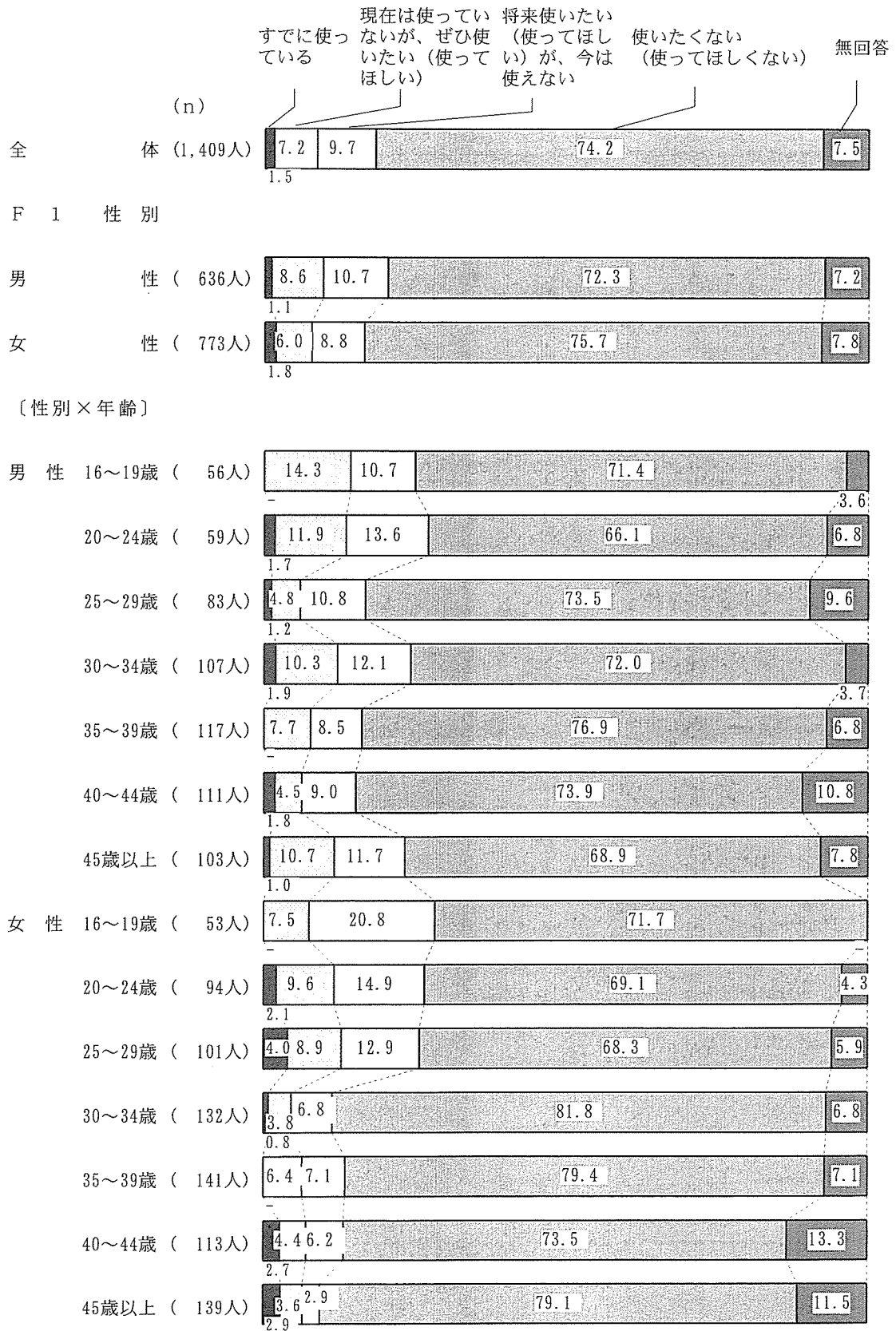
回答者全員に低用量ピル（経口避妊薬）の利用意向を聞いたところ、「現在は使っていないが、ぜひ使いたい（使ってほしい）」と答えた者は 7.2%で、「将来は使いたい（使ってほしい）が、今の状況では使えない」（9.7%）という者を合わせると、利用意向のある者は2割弱である。

これに対して、「使いたくない（使ってほしくない）」は 74.2%と多数を占めている。また、「すでに使っている」という者は 1.5%である。

性別にみると（図7-1-1）、あまり大きな差はみられない。

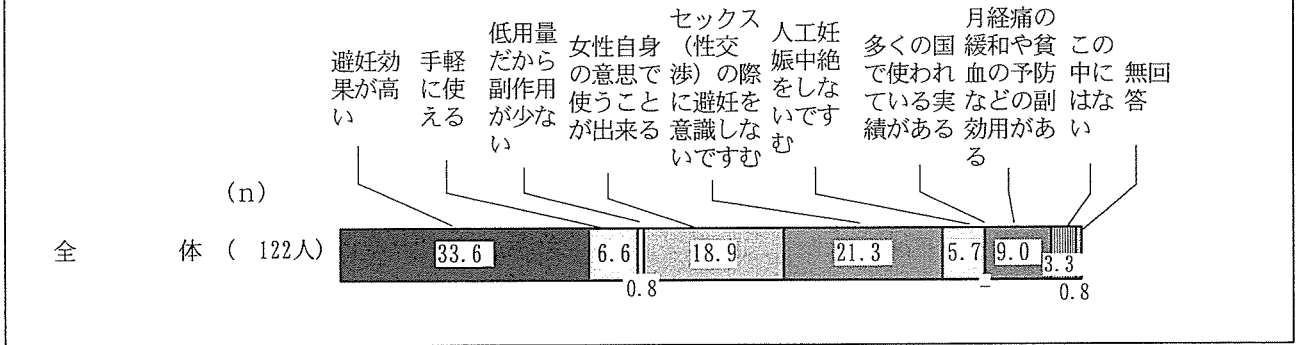
性・年齢別にみると（図7-1-1）、「現在は使っていないが、ぜひ使ってほしい」という者は、該当数は少ないが男性の24歳以下の年齢層で多くなっている。「将来は使いたい、今の状況では使えない」は、女性で若年齢ほど多くなる傾向がみられ、該当数は少ないが女性の16～19歳（20.8%）では2割を超えている。

図7-1-1 低用量ピル（経口避妊薬）の利用意向（性別、性・年齢別）



【問 38 で「1」または「2」と答えた方に、お聞きします。】

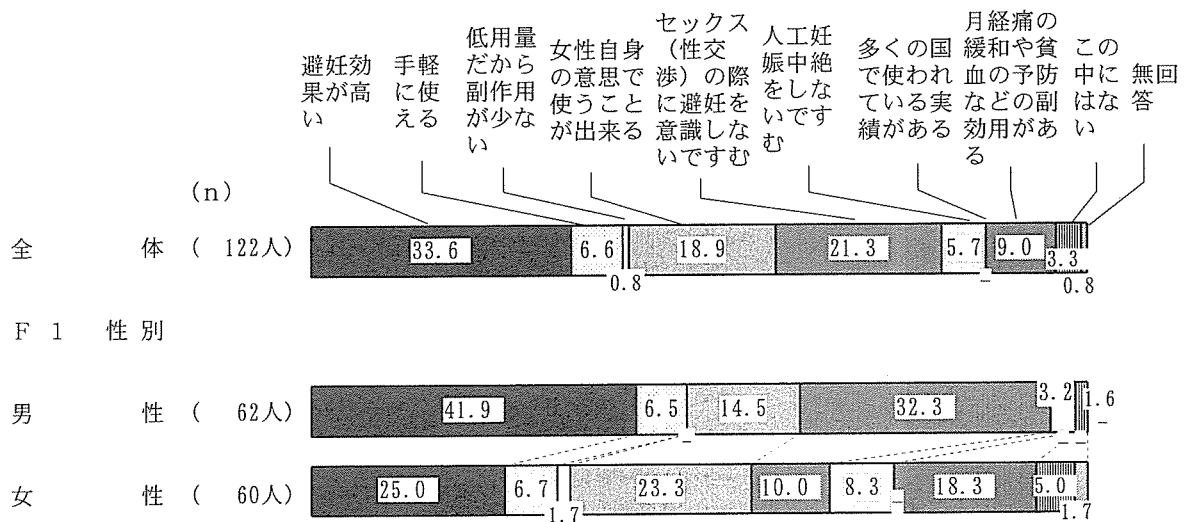
問 38-1 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」と思う最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)



低用量ピル(経口避妊薬)を「すでに使っている」もしくは「ぜひ使いたい(使ってほしい)」と答えた者(122人)に、その最も大きな理由を聞いたところ、「避妊効果が高い」(33.6%)と答えた者が3人に1人で最も多い。次いで、「セックス(性交渉)の際に避妊を意識しないですむ」という者が21.7%、「女性自身の意思で使うことが出来る」という者が18.9%である。

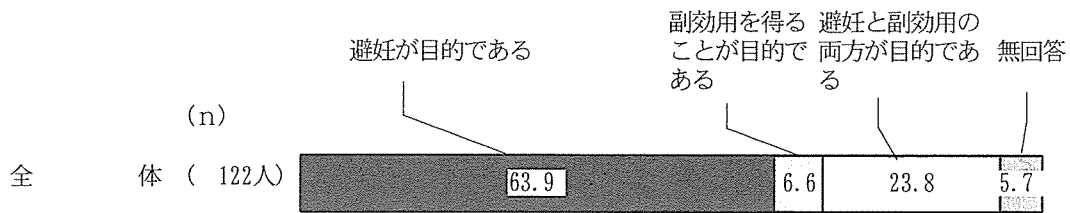
性別にみると(図7-1-2)、該当数は少ないが、「避妊効果が高い」(男性41.9%、女性25.0%)と「セックスの際に避妊を意識しないですむ」(同32.3%、10.0%)という者は男性で、「女性自身の意思で使うことが出来る」(同14.5%、23.3%)という者は女性で、それぞれ多くなっている。

図7-1-2 低用量ピル(経口避妊薬)を使いたい(使ってほしい)理由(性別)



問 38-2 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」という目的は何ですか。

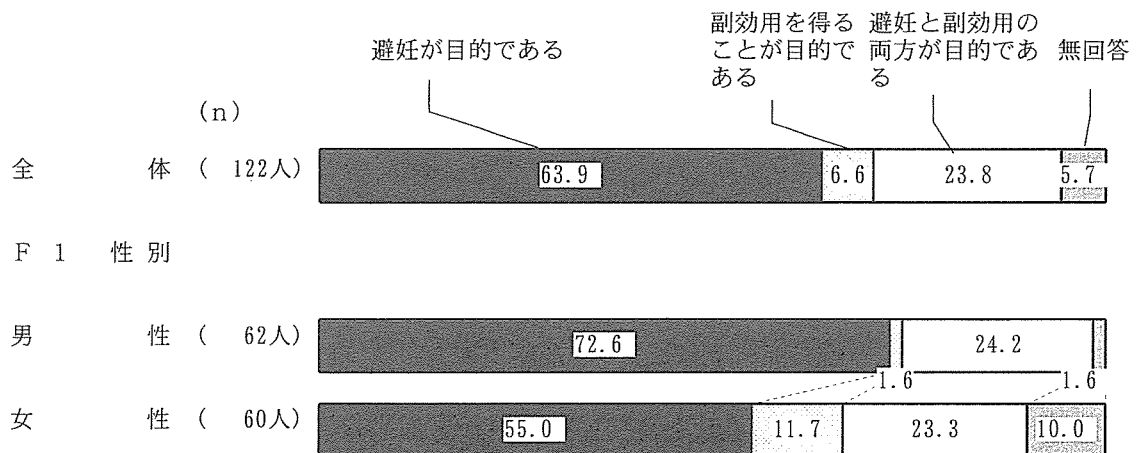
(○は1つ)



低用量ピル（経口避妊薬）を「すでに使っている」もしくは「ぜひ使いたい（使ってほしい）」と答えた者（122人）に、その使用目的を聞いたところ、「避妊が目的である」という者が63.9%で最も多く、次いで、「避妊と副作用の両方が目的である」という者が23.8%、「副作用を得ることが目的である」という者が6.6%である。

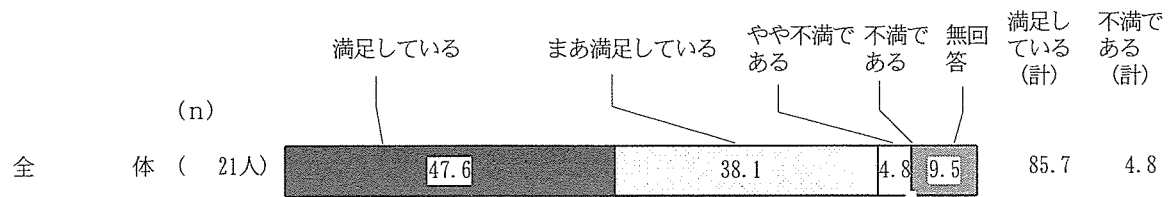
性別にみると（図7-1-3）、該当数は少ないが、「避妊が目的である」（男性72.6%、女性55.0%）という者は男性で、「副作用を得ることが目的である」（同1.6%、11.7%）という者は女性で、それぞれ多くなっている。

図7-1-3 低用量ピル（経口避妊薬）の使用目的（性別）



【問 38 で「1 すでに使っている」と答えた方に、お聞きします。「2 ぜひ使いたい」と答えた人は問 39 へお進みください】

問 38-3 低用量ピルを「使っている」満足度はどの程度ですか。(○は1つ)

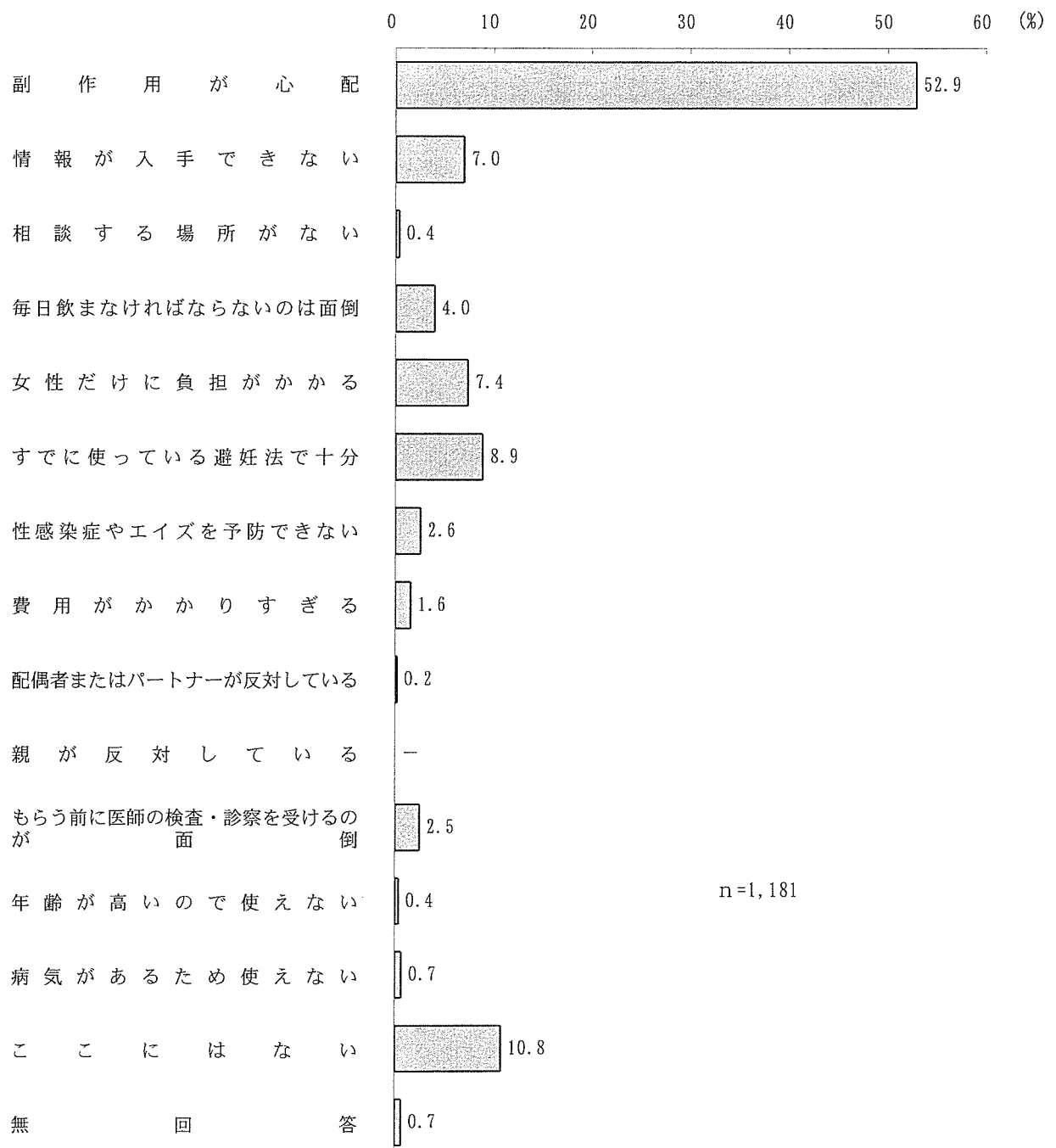


低用量ピル（経口避妊薬）を「すでに使っている」と答えた者（21人）に、その使用目的を聞いたところ、「満足している」という者が47.6%（10人）、「まあ満足している」（38.1%、8人）と答えた者を合わせた『満足している』は85.7%（18人）で多数を占めた。一方、「やや不満である」は4.8%（1人）、「不満である」と答えた者はいなかった。

【問 38 で「3」または「4」と答えた方に、お聞きします。】

問 38-4 低用量ピルを、「使えない」または「使いたくない」ことの最も大きな理由は何ですか。

(○は1つ)



低用量ピル（経口避妊薬）を「将来は使いたい（使ってほしい）が、今の状況では使えない」もしくは「使いたくない（使ってほしくない）」と答えた者（1,181人）に、その最も大きな理由を聞いたところ、「副作用が心配」であるというものが52.9%と際立って多く、以下「すでに使っている避妊法で十分」（8.9%）、「女性だけに負担がかかる」（7.4%）、「情報が入手できない」（7.0%）と続いている。

性別にみると（表7-1-1）、男女とも5割強が「副作用が心配」（男性53.4%、女性52.5%）と答えている。それ以外では、「女性だけに負担がかかる」（同12.3%、3.4%）という者は女性より男性に、「毎日飲まなければならないのは面倒」（同0.9%、6.4%）と答えた者は男性より女性に、それぞれ多くなっている。

性・年齢別にみると（表7-1-1）、「副作用が心配」という者は男性の35～39歳（60.0%）と該当数は少ないが女性の25～29歳（59.8%）で6割を占めている。「女性だけに負担がかかる」という者は男性の30～34歳で、「情報が入手できない」という者が該当数は少ないが男性の20～24歳と女性の16～19歳で、「毎日飲まなければならないのは面倒」という者は女性の20～24歳と30～34歳の年齢層で、それぞれ他の性・年齢層より多くあげられている。

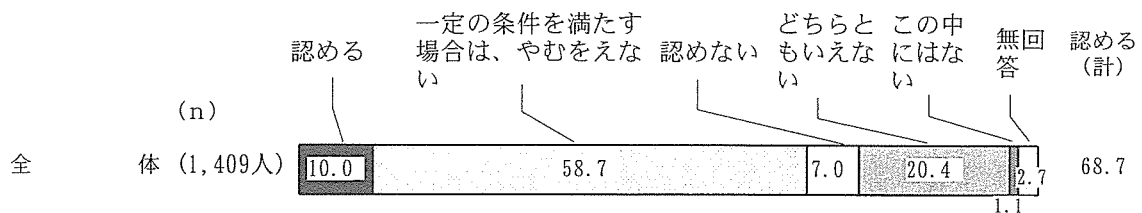
表7-1-1 低用量ピル（経口避妊薬）を使わない理由（性別、性・年齢別）

	(n)	副作用が心配	情報が入手できない	相談する場所がない	毎日飲まなければならないのは面倒	女性だけに負担がかかる	すでに使っている避妊法で十分	性感染症やエイズを予防できない	費用がかかりすぎる	配偶者やパートナーが反対している	親が反対している
全体	1181	52.9	7.0	0.4	4.0	7.4	8.9	2.6	1.6	0.2	-
F1 性別											
男性	528	53.4	5.9	0.2	0.9	12.3	9.1	3.2	0.8	0.2	-
女性	653	52.5	8.0	0.6	6.4	3.4	8.7	2.1	2.3	0.2	-
〔性別×年齢〕											
男性 16～19歳	46	52.2	8.7	-	-	17.4	2.2	6.5	2.2	-	-
20～24歳	47	40.4	14.9	-	-	19.1	14.9	2.1	-	-	-
25～29歳	70	52.9	7.1	-	1.4	12.9	8.6	4.3	-	-	-
30～34歳	90	51.1	2.2	-	-	20.0	4.4	3.3	1.1	-	-
35～39歳	100	60.0	4.0	-	-	12.0	11.0	1.0	1.0	-	-
40～44歳	92	56.5	5.4	-	2.2	5.4	10.9	3.3	1.1	-	-
45歳以上	83	53.0	4.8	1.2	2.4	4.8	10.8	3.6	-	1.2	-
女性 16～19歳	49	44.9	20.4	2.0	6.1	4.1	6.1	2.0	-	-	-
20～24歳	79	41.8	7.6	-	11.4	7.6	8.9	5.1	6.3	-	-
25～29歳	82	59.8	2.4	-	6.1	1.2	4.9	1.2	3.7	-	-
30～34歳	117	57.3	8.5	-	9.4	0.9	6.8	0.9	2.6	-	-
35～39歳	122	55.7	5.7	1.6	4.1	5.7	9.8	0.8	1.6	0.8	-
40～44歳	90	51.1	8.9	-	4.4	1.1	10.0	4.4	2.2	-	-
45歳以上	114	50.9	7.9	0.9	4.4	3.5	12.3	1.8	-	-	-

	(n)	医師の検査・診察を受けるのが面倒	年齢が高いので使えない	病気があため使えない	ここにはない	無回答
全体	1181	2.5	0.4	0.7	10.8	0.7
F1 性別						
男性	528	0.8	0.4	0.2	11.9	0.8
女性	653	3.8	0.5	1.1	9.8	0.6
〔性別×年齢〕						
男性 16～19歳	46	-	2.2	-	8.7	-
20～24歳	47	-	-	-	8.5	-
25～29歳	70	1.4	-	-	11.4	-
30～34歳	90	-	-	-	15.6	2.2
35～39歳	100	-	-	1.0	10.0	-
40～44歳	92	2.2	-	-	12.0	1.1
45歳以上	83	1.2	1.2	-	14.5	1.2
女性 16～19歳	49	8.2	-	-	6.1	-
20～24歳	79	3.8	-	2.5	5.1	-
25～29歳	82	3.7	-	-	15.9	1.2
30～34歳	117	4.3	-	-	9.4	-
35～39歳	122	3.3	-	2.5	8.2	-
40～44歳	90	2.2	-	1.1	11.1	3.3
45歳以上	114	3.5	2.6	0.9	11.4	-

2 人工妊娠中絶についての意識

問 39 あなたは、人工妊娠中絶についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(○は1つ)



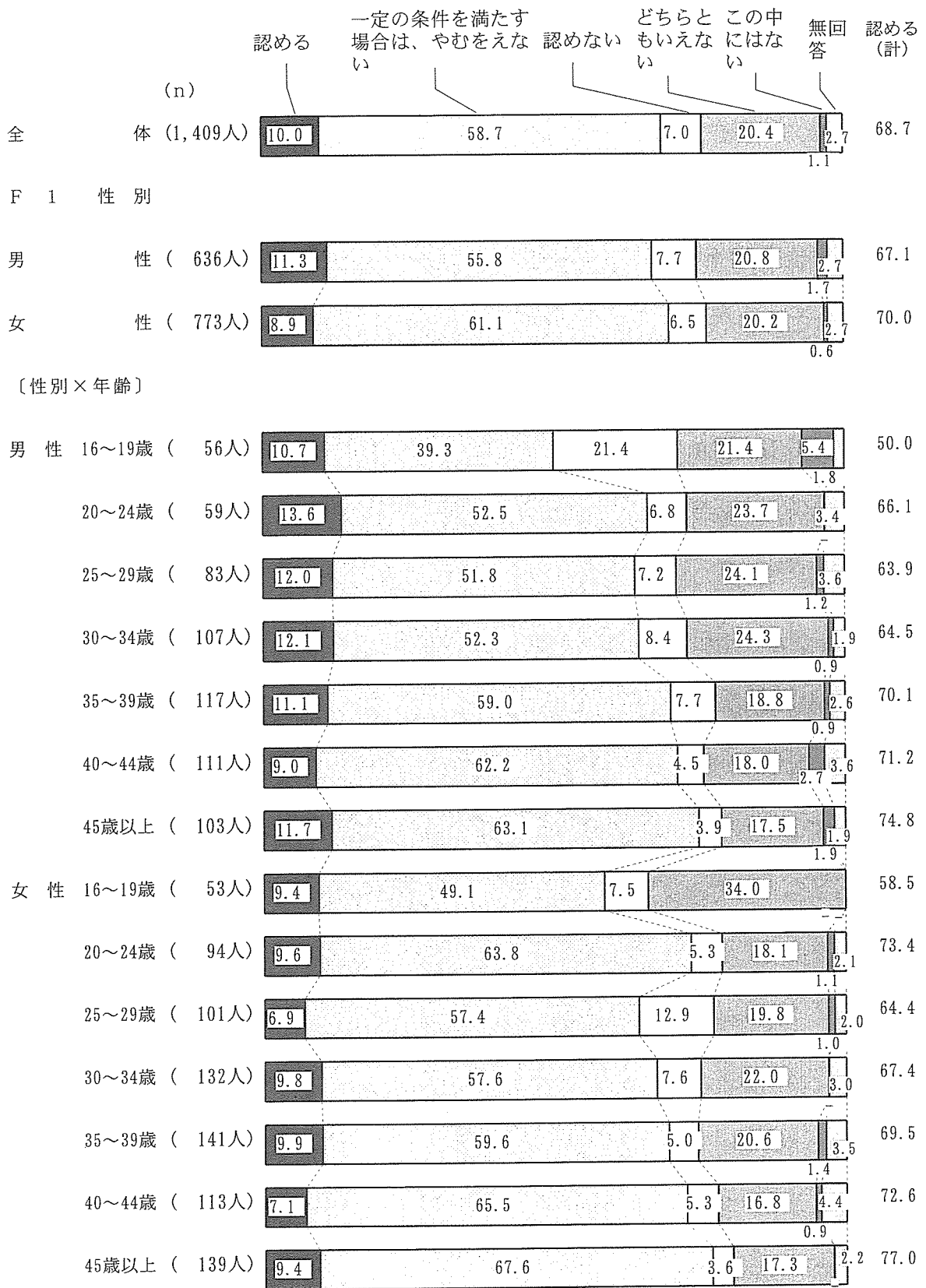
人工妊娠中絶についての意識を聞いたところ、「認める」と答えた者は 10.0%で、「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」(58.7%)という者が6割弱である。「認める」と「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」を合わせた『認める』(68.7%)という者は約7割を占めている。

これに対して、「認めない」という者は 7.0%で、5人に1人は「どちらともいえない」(20.4%)と答えている。

性別にみると(図7-2-1)、「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」という者は女性(61.1%)では6割を超え、男性(55.8%)より多い。また、人工妊娠中絶を『認める』者は女性(70.0%)では7割を占めている。

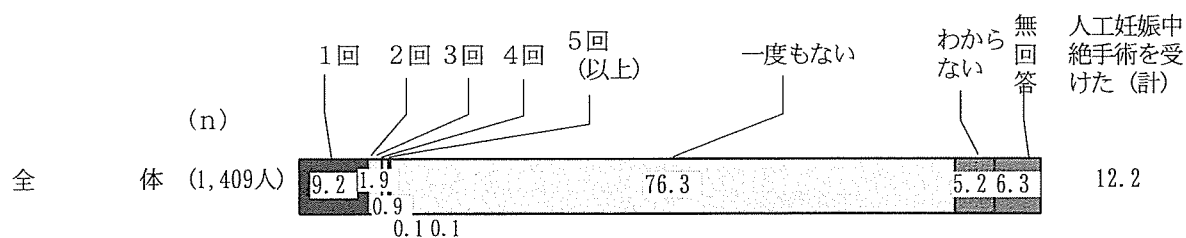
性・年齢別にみると(図7-2-1)、「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」は男女とも20~24歳の年齢層を除いて年齢が高いほど多くなっており、特に女性の40歳以上の年齢層では6割台後半を占めている。また、『認める』でも、男女とも20~24歳の年齢層を除いて年齢が高いほど多く、最も多い女性の45歳以上(77.0%)では8割弱となっている。一方、「認めない」という者は女性の25~29歳(12.9%)で多く、該当数は少ないが男性の16~19歳(21.4%)でも多くなっている。

図7-2-1 人工妊娠中絶についての意識（性別、性・年齢別）



3 人工妊娠中絶の手術を受けた経験

問 40 あなた（あるいはあなたの相手）は、これまでに、人工妊娠中絶の手術を受けたことがありますか。1から7までの番号に○は1つつけてください。また、1か2に○をつけた人は、そこにその時のあなたの年齢を記入してください。（○は1つ、1または2に○の場合は年齢も記入）



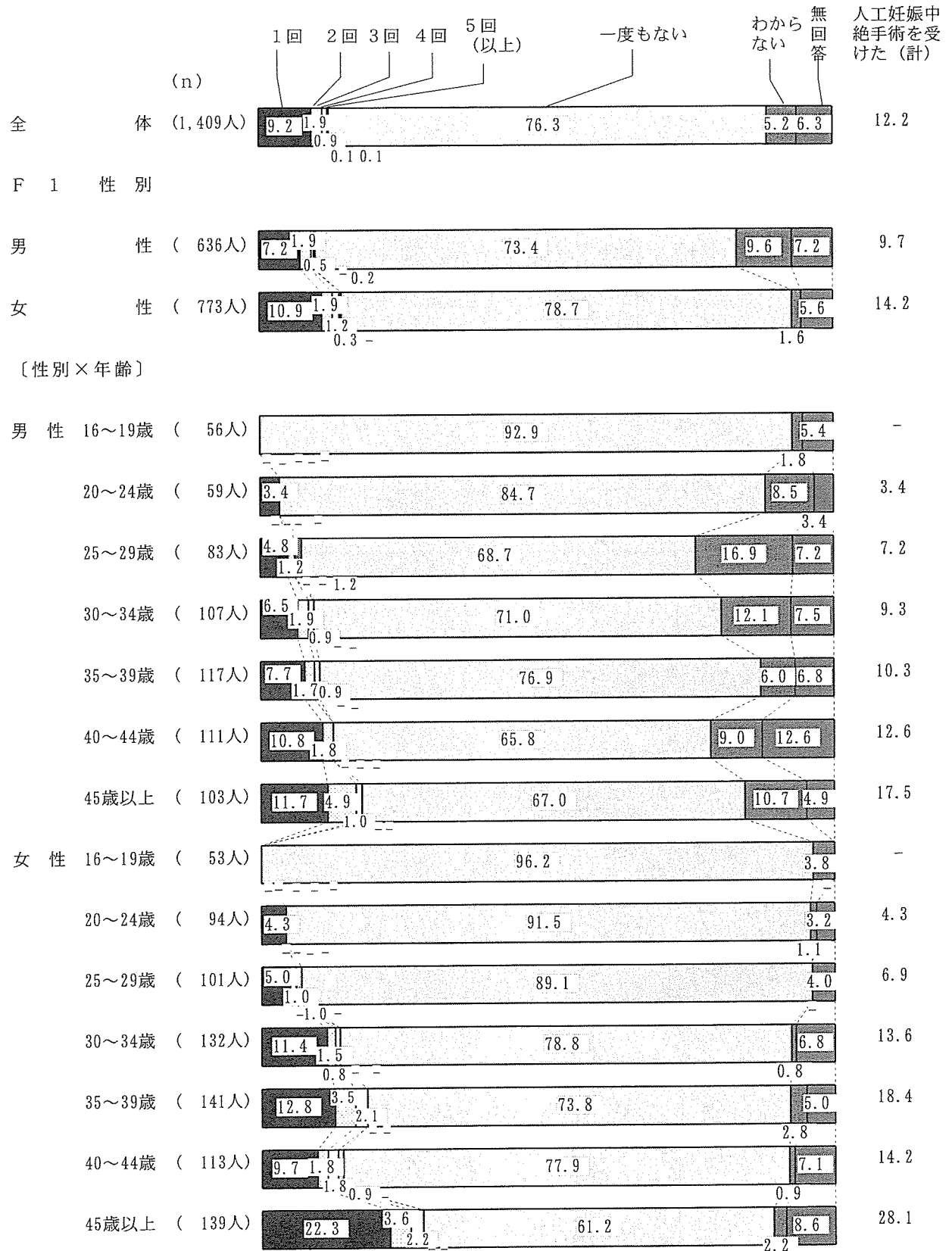
女性には自分自身が、男性には相手の女性が、これまでに人工妊娠中絶の手術を受けたことがあるかどうかを聞いたところ、「1回」と答えた者が9.2%で、次いで「2回」が1.9%である。これまでに『人工妊娠中絶の手術を受けた』ことがあるという者は12.2%となっている。

一方、「一度もない」者は76.3%である。

性別にみると（図7-3-1）、これまでに自分または自分の相手が『人工妊娠中絶の手術を受けた』ことがあるという者は女性では14.2%で、男性（9.7%）より多くなっている。また、「一度もない」という者も男性（73.4%）より女性（78.7%）に多くなっている。一方、「わからない」という者は女性（1.6%）より男性（9.6%）に多くなっている。

性・年齢別にみると（図7-3-1）、人工妊娠中絶の手術経験が「1回」という者は女性の45歳以上（22.3%）で2割を超えている。また、男女とも、自分または自分の相手が『人工妊娠中絶の手術を受けた』ことがあるという者は年齢が高いほど多くなる傾向がみられる。女性でみると、16～19歳では人工妊娠中絶の手術の経験者はなく、20歳代の年齢層でも『人工妊娠中絶の手術を受けた』と答えた者は5%前後であるが、30～34歳（13.6%）で1割強に増え、35～39歳（18.4%）では2割弱、女性の45歳以上（28.1%）では3割弱が『人工妊娠中絶の手術を受けた』と答えている。

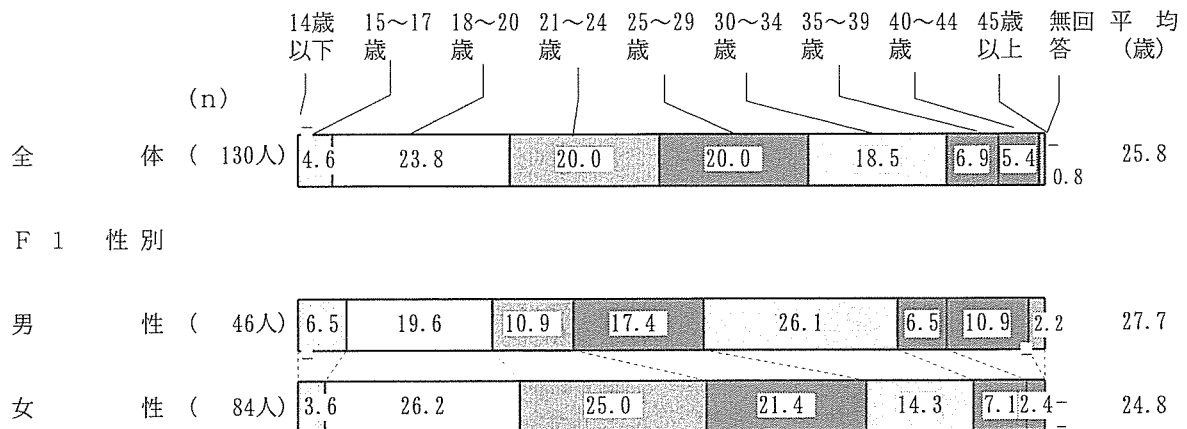
図7-3-1 人工妊娠中絶の手術を受けた経験（性別、性・年齢別）



これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことが1回だけのもの者（130人）に、その人工妊娠中絶手術を受けた年齢を聞いたところ（図7-3-2）、「18～20歳」（23.8%）という者が2割強、「21～24歳」（20.0%）と「25～29歳」（20.0%）が同率の2割で並んでいる。平均すると25.8歳になる。

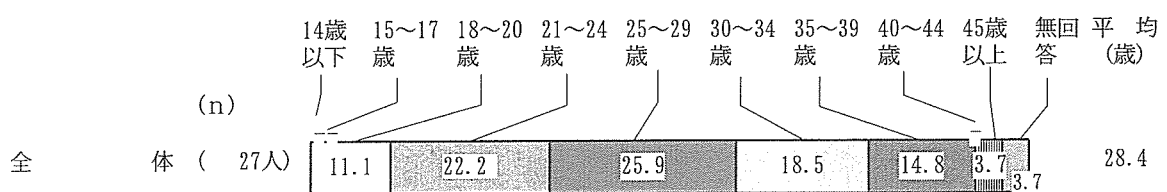
性別にみると（図7-3-2）、自分または自分の相手が1回のみ人工妊娠中絶手術を受けたその者の、受けた年齢の平均は、男性27.7歳、女性24.8歳である。

図7-3-2 人工妊娠中絶手術が1回の人の手術を受けた年齢（性別）



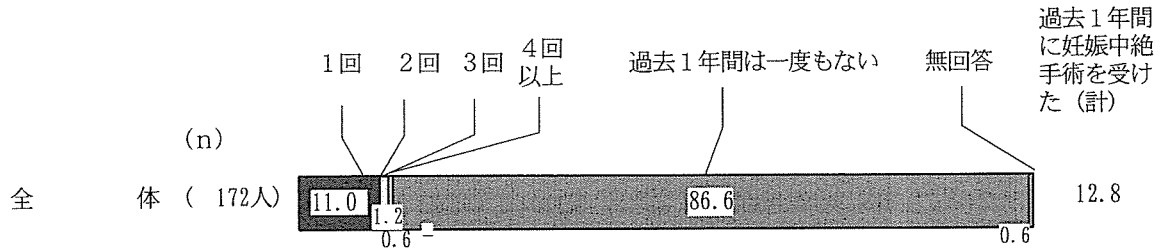
人工妊娠中絶手術を2回受けたことがある者（27人）に、2回目の手術の時の年齢を聞いたところ（図7-3-3）、平均すると28.4歳であった。

図7-3-3 人工妊娠中絶手術が2回の人々の2回目の手術を受けた年齢



【問 40 で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

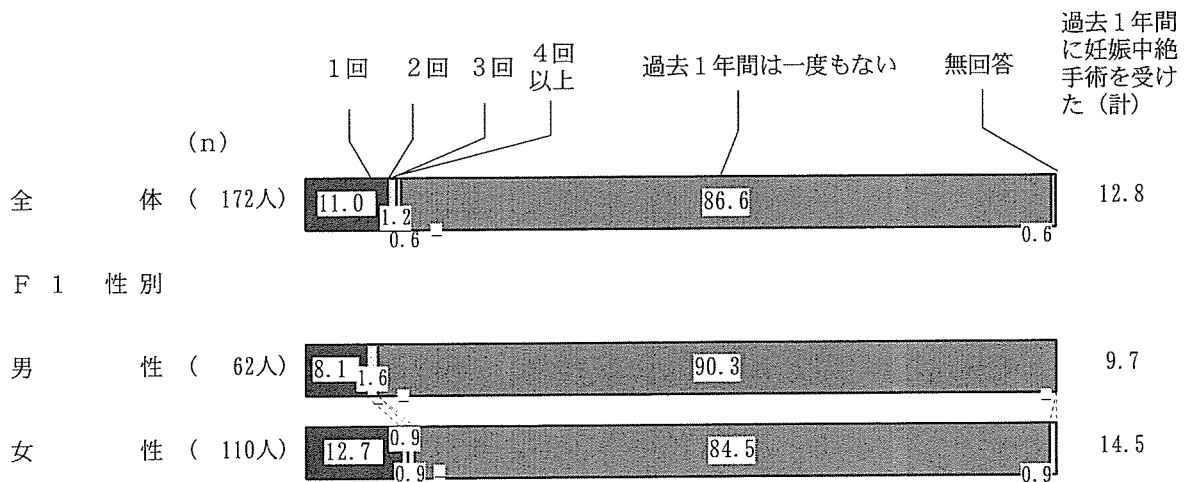
問 40-1 では、過去1年間に人工妊娠中絶の手術を受けたことはありますか。(○は1つ)



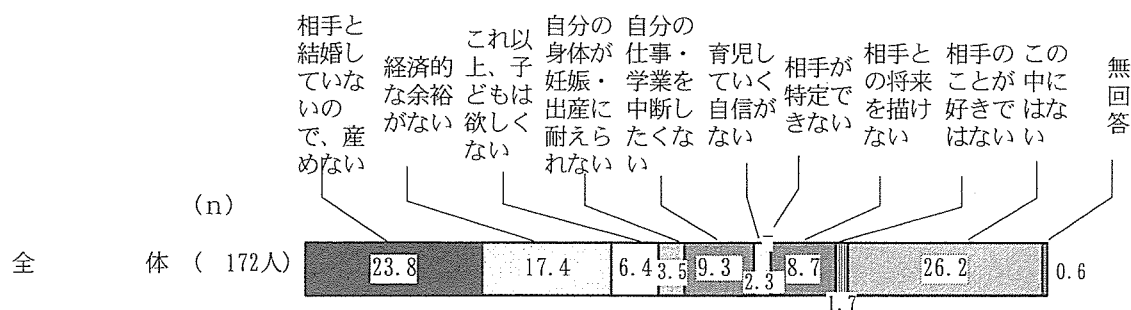
これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことがあるもの者(172人)に、過去1年間の人工妊娠中絶手術の経験を聞いたところ(図7-3-4)、「1回」(11.0%)という者が1割強で、2回以上受けたものを合わせた『過去1年間に人工妊娠中絶手術を受けた』者は12.8%となっている。

性別にみると(図7-3-4)、『過去1年間に人工妊娠中絶手術を受けた』者は男性(9.7%)より女性(14.5%)に多くなっている。

図7-3-4 過去1年間の人工妊娠中絶手術の有無(性別)



問 40-2 あなた（あるいは、あなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由は、何ですか。（○は1つ）

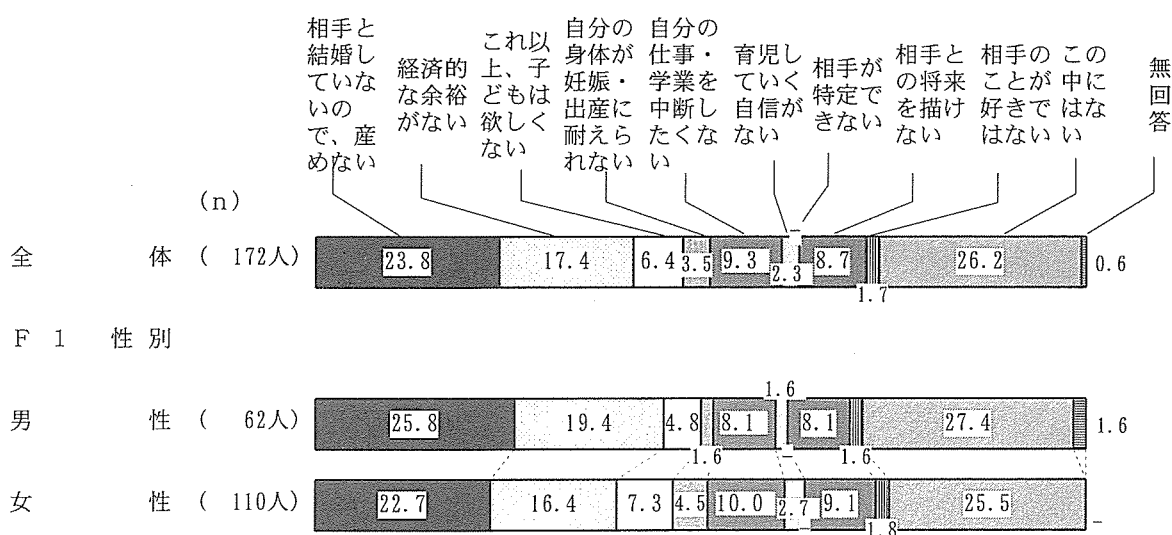


これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（172人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由を聞いたところ、「相手と結婚していないので、産めない」（23.8%）という者がほぼ4人に1人で最も多く、次いで「経済的な余裕がない」（17.4%）が2割弱、「自分の仕事・学業を中断したくない」（9.3%）と「相手との将来を描けないから」（8.7%）が1割弱で続いている。

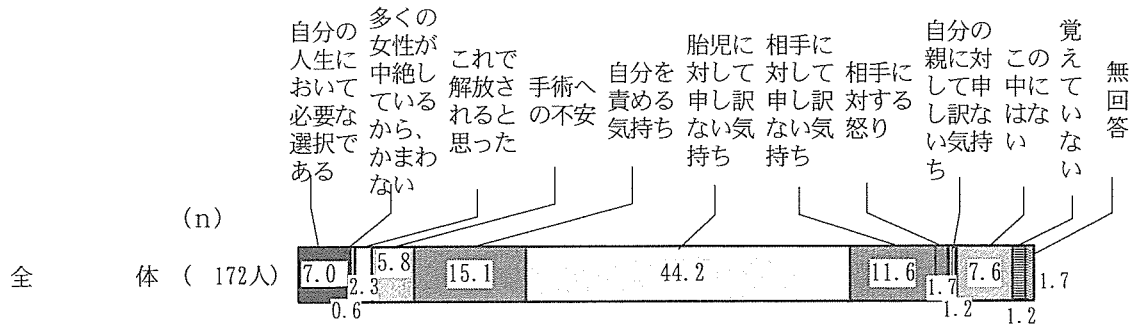
なお、「この中にはない」は26.2%である。

性別にみると（図7-3-5）、あまり大きな差はみられない。

図7-3-5 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由（性別）



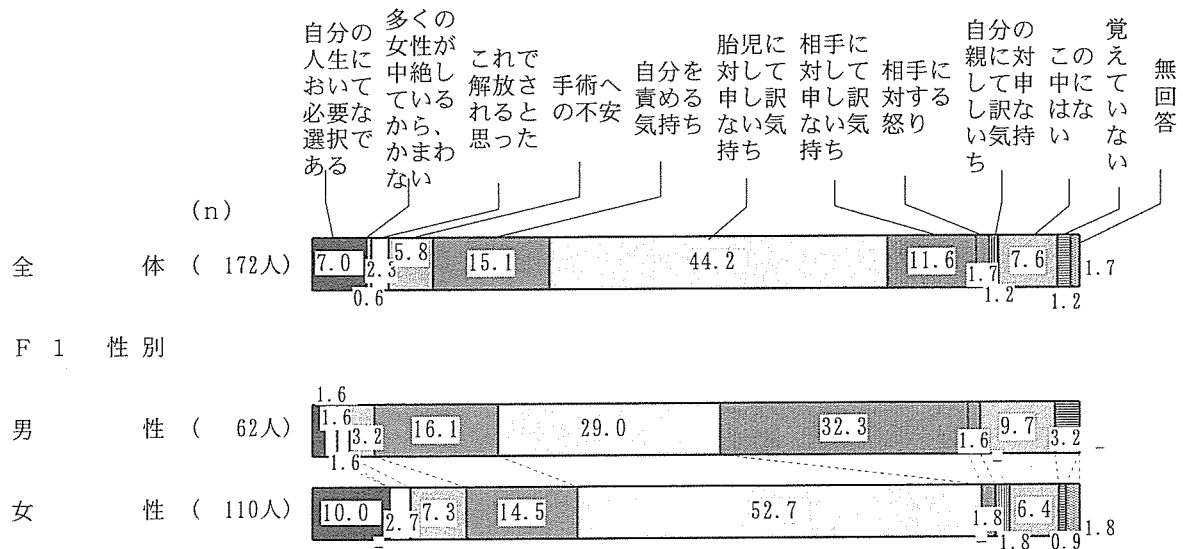
問 40-3 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。（○は1つ）



これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（172人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ちを聞いたところ、「胎児に対して申し訳ない気持ち」だったという者が44.2%で最も多く、次いで「自分を責める気持ち」（15.1%）、「相手に対して申し訳ない気持ち」（11.6%）、「自分の人生において必要な選択である」（7.0%）などの順になっている。

性別にみると（図7-3-6）、「胎児に対して申し訳ない気持ち」と答えたのは女性（52.7%）では半数を超え、男性（29.0%）より約24ポイント多くなっている。一方、「相手に対して申し訳ない気持ち」と答えたのは、すべて男性（32.3%）で男性の3割強を占めている。

図7-3-6 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ち（性別）



調 査 票

第3回 男女の生活と意識に関する調査

○この調査票に記載された内容については、統計として取りまとめるだけで、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に医学的見地からの質問となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○どうしても、答えにくい質問があれば、その部分は無回答でも結構です。次の質問に進んでください。

〔ご記入に際してのお願い〕

- 1) この調査は、調査をお願いしたご本人様にご回答をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 3) お答えは原則的に1つの質問につき1つ選んでいただきます。ただし質問によっては、2つ以上の回答を選んでもいただく場合があります。質問文末に（○は2つまで）など、選んでいただく回答の数が示してありますので、これに従ってください。
- 4) ご記入は、質問の番号や矢印（→）の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、お伺いした調査員にお尋ねいただくか、調査の実施機関である下記の（社）新情報センターにお問い合わせください。

〔回収日時〕

月 日 時頃に回収にお伺いします。それまでにご記入いただき、回収用封筒に密封してお渡しいたきますよう、お願い申し上げます。

平成18年11月

厚生労働省厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業
「全国の実態調査に基づいた人工妊娠中絶の減少に向けた包括的研究」

主任研究者 東京大学医学部教授 武 谷 雄 二

【調査実施機関】 社団法人 新 情 報 セ ン タ ー

東京都渋谷区恵比寿1-13-6

（お問い合わせ） 月～金（祝日除く）9～17時

リ-ダ-イ-ル 0120-78-5231

担当：小 川、今 井

ホームページアドレス：<http://www.sjc.or.jp>

調査員氏名	
-------	--

あなたのこれまでの日常生活や考え方についてお伺いします。

問1 あなたが幼い頃（10歳くらいの頃まで）、多くの同性の友だちと一緒に外で遊びましたか。（○は1つ）

- | | |
|----------|--------------|
| 1 よく遊んだ | 3 ほとんど遊ばなかった |
| 2 時々、遊んだ | 4 まったく遊ばなかった |

問2 あなたが幼い頃（10歳くらいの頃まで）、地域の中で、他の年代の人たちと関わる機会が多くありましたか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 よく関わった | 3 ほとんど関わりはなかった |
| 2 時々、関わった | 4 まったく関わりはなかった |

問3 あなたは、自分の親に似ていると言われるとうれしく思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 あてはまる | 4 あまりあてはまらない |
| 2 ややあてはまる | 5 あてはまらない |
| 3 どちらともいえない | |

問4 あなたは、過去の決断を後悔することがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 あてはまる | 4 あまりあてはまらない |
| 2 ややあてはまる | 5 あてはまらない |
| 3 どちらともいえない | |

問5 あなたは、これまでに自傷行為（リストカットなど）をしたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|-------------------------|
| 1 何回もある | 3 したことはないが、しようと思ったことはある |
| 2 1度だけある | 4 したことはない、しようと思ったこともない |

問6 性に関する事柄について、あなたは一般的に、何歳くらいの時に知るべきだと思いますか。a～pのそれぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

	3 歳	6 歳	10 歳	13 歳	16 歳	19 歳 以上	異なる 個人 によつて	知る 必要 はない
a 男女の心と身体の違い	1	2	3	4	5	6	7	8
b 二次性徴（発毛・声変わり・乳房のふくらみ）、月経、 射精などの身体のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
c 受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
d セックス（性交渉）	1	2	3	4	5	6	7	8
e 避妊法	1	2	3	4	5	6	7	8
f 人工妊娠中絶	1	2	3	4	5	6	7	8
g エイズとその予防	1	2	3	4	5	6	7	8

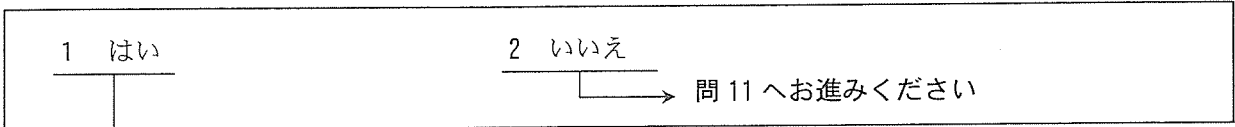
	3 〜 5 歳	6 〜 9 歳	10 〜 12 歳	13 〜 15 歳	16 〜 18 歳	19 歳 以上	異なる 個人によ って	知る必 要はな い
(続き)								
h エイズ以外の性感染症とその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
i コンドームの使い方	1	2	3	4	5	6	7	8
j 多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)...	1	2	3	4	5	6	7	8
k 性的被害(レイプや性暴力など)の対処法	1	2	3	4	5	6	7	8
l 男女間の平等や助け合い	1	2	3	4	5	6	7	8
m 結婚	1	2	3	4	5	6	7	8
n 離婚	1	2	3	4	5	6	7	8
o 人と人とのコミュニケーション(関わり方)	1	2	3	4	5	6	7	8
p 性に関する倫理や道徳	1	2	3	4	5	6	7	8

ここからは男女の関係性についての意識を伺います。

問7 あなたは異性と「付き合う」という言葉をどのようにとらえていますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

- 1 セックスをする関係
- 2 一緒の時間・人生を生きるものとしての関係
- 3 1人にしぼられた特定の相手との関係
- 4 結婚などの将来設計を描く相手としての関係
- 5 一生に一度しか出会うことのないかけがえのない相手との関係
- 6 この中にはない

問8 いままで、あなたは付き合っていた(いる)相手がありますか。現在進行中の関係も含めてください。(○は1つ)



【問9と問10は、問8で「1」と答えた人にお聞きします。】

問9 初めてそのような相手を持ったのは、あなたが何歳のときですか。

□	歳の時
---	-----

問10 その初めての関係がおわったのはあなたが何歳のときですか。

1	□ 歳の時	2 現在、関係が続行中
---	-------	-------------

性の意識や知識についてお伺いします。

【全員の方がお答えください。】

問 11 あなたは、避妊方法について、主にどこから知りましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 教師・学校の授業 | 6 友だち |
| 2 医師、助産師、保健師などの保健医療者 | 7 マスコミ（新聞、テレビ、雑誌など） |
| 3 親 | 8 インターネット |
| 4 きょうだい | 9 意識せず、自然に身についた |
| 5 親以外の大人 | 10 学んだことはない |

問 12 あなたは中学生がセックス（性交渉）をすることについてどう思いますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 セックス（性交渉）は、妊娠や性感染症について、自分で責任のとれる年齢や立場になってからするべきだ |
| 2 妊娠や病気が学業に与えるその後の影響を考えると、しないほうがよい |
| 3 時代の流れであるので仕方がない |
| 4 セックス（性交渉）をするかしないかは、中学生であっても個人の自由である |

問 13 あなたは、セックス（性交渉）をすることに、関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても関心がある | 4 まったく関心がない |
| 2 ある程度関心がある | 5 嫌悪さえしている |
| 3 あまり関心がない | |

問 14 あなたは、実際に異性と関わることを面倒だと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1 とても面倒である | 4 まったく面倒ではない |
| 2 ある程度面倒である | 5 異性とかかわることを嫌悪さえしている |
| 3 あまり面倒ではない | |

問 15 性感染症予防のためにもコンドームは重要ですが、どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 値段を安くする |
| 2 いろいろな場所で入手できる |
| 3 使いやすい商品を開発する |
| 4 コンドームの有効性を周知する |
| 5 その他（具体的に |

問 16 あなたは低用量ピル（経口避妊薬）を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 あまり知らない |
| 2 ある程度知っている | 4 まったく知らない |